



月2回刊=1432号  
2015年3月15日 発行  
発行日 毎月15日30日  
発行所  
盛岡市内丸10番1号  
岩手県庁内  
岩手県職員労働組合  
印刷所  
盛岡市上田二丁目17-4  
有限会社 ジロー印刷企画  
一部40円  
組合員購読料は組合費に含む

県職連合第17回臨時大会  
県職労第112回臨時大会

# 「総合的見直し」導入阻止を 15春闘方針など決める

県職労は2月28日、自治労県本部会議室において県職連合労働組合第17回・県職労第112回臨時大会を開催した。臨時大会では、2014秋季確定闘争の中間総括を踏まえた2015春闘方針や給与制度の総合的見直し導入阻止の取り組み、人員の確保などについて論議が行われ、すべての議案が執行部提案通り可決・承認した。



2015春闘・統一地方選の勝利へ団結ガンバロー

## 主な春闘要求項目

- ◆賃金水準：11,000円以上の賃金改善。「給与制度の総合的見直し」導入阻止。
  - ◆昇給・昇格：4級及び5級における最高号給者解消のための上位級への昇格運用改善。
  - ◆旅費・諸手当：新幹線利用者の自己負担実態等の解消に向けた通勤手当改善等。
  - ◆休暇制度：特別休暇の増日・分割取得、病気休暇の期間延長など、休暇制度の充実・改善。
- この他、人員確保、諸権利の拡大、臨時・非常勤職員の待遇改善など、全114項目を要求する。



人員確保などで見解を求める交渉団

状況などを確認する。人員確保の状況などを踏まえて来年度の人員確保の状況などを確認する。

臨時大会は、議長団に吉田雅紀代議員（北上支部）と佐藤一哉代議員（久慈支部）を選出してはじまった。冒頭あいさつに立った平中委員長は「15春闘がスタートした。マスコミは、経済の好循環を背景に自動車や電機など民間大手の賃金引き上げについて報道している。しかし、我われにはそうした実感はないのが正

直な気持ちだ。労働者としての原理原則が守られている

## 春闘「要求書」提出／熊谷人事課長と交渉 人員確保は喫緊の課題 欠員の早期解消と賃金・諸手当改善求める

県職労は3月10日、「賃金・労働条件改善にかかわる要求書」を熊谷人事課長に提出し、その後、

要求書に係る交渉を行った。賃金・手当改善については、「人勧事項」としながらも、職員の負担軽減について検討し、人事委員会と協議していくことを確認した。

人員確保については、復興業務の増加や国体対応など、業務量が増加している状況などを踏まえて来年度の人員確保の状況などを確認する。人員確保の状況などを踏まえて来年度の人員確保の状況などを確認する。

交際の経過  
▼通勤手当について、満額支給限度額45000円は全国最下位水準だとして、自己負担解消へ改善を求めた。

▼特殊業務健康診断について、薬品や化学物質を扱う職場では義務とされているが、受診は特定の病院でしかできず公所によっては遠方への移動を伴うため、職務での対応を求めていることを回答した。

加入促進、諸手当の改善、

政治闘争等について方針を補強する発言があった。

大崎書記長は、賃金・諸手当等改善については、「春闘要求書に基づき給与制度の総合的見直し阻止、自己負担解消への諸手当改善に努力していく」と答えた。

▼人員確保について、来年度の欠員数は予想以上に大きな数字。どう解消していくかとの追及に対し、「来年度早々に前倒し採用を前提とした採用試験を行いながら確保に努めたい」とし、「当面、臨時職員を年度当初から増員して配置できるように準備する」と答えた。

団体生命共済がますます充実！  
不慮の事故、病気のときは  
日帰り入院からお支払い  
全国の仲間同士の助け合いだからこそ実現できる安心です。あなたも是非ご加入ください。  
じしろの団体生命共済  
自治労共済本部  
詳しくは所属する組合まで

題の解決に有効な取り組みであり、多くの支部でもぜひ取り組むをお願いしたい。人員確保については、「分会基礎調査をはじめ職場と連携した取り組みを行いながら進めていく」。加入促進については、「新採用者研修などで昼時間を活用しながら「組合加入」への取り組みを進めていきたい」と答弁。採決の結果、賛成多数で執行部提案の議案全てが可決・承認された。

矢町議選  
4月19日告示・26日投票  
「県職労臨時大会で山崎さんを推せん」  
山崎 道夫さん

年度末を迎え、所属表彰の結果が掲示されるようになってきた。しかし表彰理由を見るにつけ、単なる通常業務なのではと思うことも少なくない。表彰制度そのものが形骸化し、各職場でもとりあえず誰かを推薦しておけば目的は達成しているのか。また人事評価制度における評価実績面談の時期になつてはいるが、この間の県職労のアンケートによると、この面談が行われていないとの回答が多い。評価基準が曖昧だとする声は実に半数近くに及ぶ。部局によって業務の量も質も内容も異なるので、全く同一の観点から表彰・評価されることはほとんどあり得ない。結局推薦する側と決定する側の匙加減であり、公平性は全く無いと思つている。大きな仕事をして目立った極一部の職員の影響は、小さなながらもこつこつと着実に確実に業務をこなしている職員が数多くいる。復興に向け誰もが一生懸命働いている現在でも、翌年4月に昇給できない職員が何百人もいる。職員の意欲の向上に本当に繋げたのであれば、差を設ける制度よりも、公平かつ適正に評価原資を配分することの方が得策ではないだろうか。

### 自治労ほっとダイヤル便り 2015年 2月27日号



#### 言葉の持つ力

まだまだ寒い日が続きますが「雨水」が過ぎ寒さも峠を越える頃ですね。今回は、みなさんに1分程度の簡単なエクササイズをやっていただきたいと思います。以下の教示を実際にやってみて体験してみてください。

教示:「ピンクの象のことは、絶対に思い浮かべないで下さい!」そして、約1分間目を閉じて下さい。

みなさんは頭の中にはどんなものが思い浮かびましたか? ピンクの象がいませんでしたか? そしてそのピンクの象を頭の中から消そうとしたとき、どんなことが起こりましたか? 消そうとすればするほど消えなくなっていますか? 最後には別の何かを想像しピンクの象を消そうとしていませんか?

言葉って不思議ですね。これが否定や禁止の言葉を言われたときの思考です。自分の考え方のクセを変えていきたいときに、目標を立てる言葉のコツがここにあります。変えたいことを言葉にするとき、否定する言葉で考えがちです。例えば、「イライラしないようにする」「怒らないようにする」「ネガティブな言葉を使わないようにする」など。そうすると先ほどのエクササイズの「ピンクの象」のように「イライラ、怒る、ネガティブな言葉」が頭から離れなくなります。つい変えたいと思うことを口走ってしまう、行動してしまうということが起こります。では実際にどんな目標を立てたらよいのでしょうか。こんなふうに行動したいということを肯定的な解りやすい言葉でできるだけ明確にしておくのです。自分の考え方のクセを直したいとき、どのように直そうとしているのかメモをして振り返ってみるなど、自分と相談する時間を持つだけでも心にゆとりを取り戻せるものです。

相談員・よつばより

#### 「自治労ほっとダイヤル」

とは?

- 東日本大震災3県自治体職員対象の電話相談です。
- 携帯・PHSからも無料です。
- お話を聞くのは関東の相談員、もちろん秘密厳守です。

- ⇒ 誰かに思いきりグチを言いたい
- ⇒ 寝つきが悪い、頭が痛い、食べられないなど、からだの不調が気になる
- ⇒ なぜかイライラ、ドキドキ、メソメソしてしまう
- ⇒ 身近に悩んでいる人がいて、どう接したらいいのか分からない...

電話番号: 0120-556-283  
受付時間: 毎週水曜 18時~21時  
土曜 13時~18時

気になることをなんでも、お気軽にお電話ください。



自治労ほっとダイヤルHP  
http://fjichiro-hotdial.main.jp/  
発行責任者: 自治労、ほっとダイヤルチームリーダー・香山リカ  
事務局: 自治労東日本大震災対策委員会  
(千代田区六番町1 TEL:03-3263-0262)

# 質の高い公共サービスの確立へ

## 一連合/2.24中央総決起集会に3000人が集結



2.24連合決起集会に参加した県本部参加者

連合は2月24日、東京日比谷野外音楽堂で、公務員労働者の労働基本権回復と公共サービスの維持・拡充をテーマとする決起集会を開き、3000人が参加した。(岩手県本部からも10人が参加。うち県職労2人)

「質の高い公共サービスの再構築とのために必要となる自律的労使関係制度を確立する労働基本権の早期回復に向けて、組織一丸となって取り組みを進めていく」とする集会決議を採択した後、10梯団に分かれて

霞ヶ関をデモ行進、衆・参両院で連合推薦の国会議員への要請行動を行った。集会あいさつで古賀伸明会長は労働基本権回復について、少子高齢化や貧困などの問題に対応できる公共サービスの提供体制づくりと、その関連として、地方公務員賃金の地場賃金への波及効果にも触れて「社会全体の底上げをめざす私たちの運動にとって解決すべき急務の課題」だと述べ、春闘との一体的取組みを提起した。集会には、「公務労働者が私たちの生活を支えている。だから私たちは彼らのために闘う」と連合の要求を支持するITUC(国際労働組合総連合)からの連帯メッセージも寄せられた。



新年号クイズ抽選を行う平中委員長

県職労「新年号機関紙クイズ」には77人からの応募があり、その抽選会が、2月28日開催の県職労臨時大会の中で行われた。抽選の結果、次の方々が当選されました。おめでとうございます。

### 新年号クイズ

## 当選者発表

- 【清温荘宿泊券】伊東 雄一さん (宮古支部・岩泉林務出張所分会)
- 【復興応援賞】(久慈支部賞・野田村特産物セット) 永田 憲一さん (盛岡支部・農村整備室分会)
- 【復興応援賞】(宮古支部賞・山葡萄ワイン手廻り&スパリングワイン) 立花 一さん (久慈支部・保健福祉環境部分会)
- 【復興応援賞】(釜石支部賞・黄金海宝漬便り) 千田 拓洋さん (久慈支部・農村整備室分会)
- 【復興応援賞】(気仙支部賞・三陸鮮ホタテ) 熊谷 真一さん (久慈支部・農村整備室分会)
- 【図書カード】千葉 寛満さん (花巻支部・農林振興センター分会)
- 千葉 良さん (胆江支部・総務部分会)
- 佐藤祐里江さん (胆江支部・総務部分会)
- 遠野 秀敏さん (盛岡支部・保健福祉環境部分会)
- 川村 浩美さん (気仙支部・南部園芸研究室分会)
- 飯坂 覚さん (胆江支部・産業技術短期大 学校水沢校分会)
- 紺野 清一さん (胆江支部・土木部分会)
- 瀬川 孝司さん (北上支部・農村整備室分会)
- 佐藤 竜太さん (県庁支部・税務部分会)
- 佐藤 誠さん (花巻支部・県税センター分会)



新役員などを決めた税務協総会

## 新議長に熊谷さんを選出 税務協が14年度の総会開催

県職労税務職員協議会(平会長)は3月7日、14年度の定期総会を開催、9人(総会では、組織再編や職員の定期総会を開催、9人)員定数の削減などで、これ

まで当たり前のように行ってきた公平・公正な賦課徴収事務を維持していくための職場・人員体制等について議論が交わされた。一方で、震災復興が本格化するなか、被災納税者に対する対応、建築促進に伴う家屋評価事務の増加など、これまでにも増して厳しい状況が続くことが見込まれることから、県職労本部と連携して課題解決を図っていくこと等を確認した。また、新議長に熊谷勝文さん(盛岡)、事務局長には伊藤貢さん(宮古)が選出された。

# 自然災害共済の大型タイプなら安心!!

風水害等のケース  
最高保障額  
4,200万円

地震等のケース  
最高保障額  
1,800万円

詳しくは組合までお問い合わせください



全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会  
自治労共済本部  
全日本自治体労働者共済生活協同組合

※最高加入限度口数 住宅400口・家財200口で加入の場合の保障内容です。  
※自然災害共済は、火災共済に付帯しての契約になります。自然災害共済のみの加入はできません。